

ユニフォーム規程（補足）

2020 年 3 月 18 日付け J F A より「選手の用具に関する運用緩和について」通達を受け、全日本選手権の要項に準じ、ユニフォーム規定（補足）を修正致しますのでご確認ください。

徳島県大会は、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に準じる。

ただし、この補足は大会要項の一部であり、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」より優先する。

1. 背番号（胸番号等含む）は、1つの番号を1人の競技者で登録すること。
2. 試合中に競技者がビブスを着用することは認めない。ベンチに入る交代要員は、試合に使用している各チームのユニフォーム（シャツ）の色彩と異なるビブス又はジャージ等を着用すること。
3. ~~アンダーシャツを着用する場合は、アンダーシャツの袖の色がシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。シャツが縞模様等であり、各色の比率が概ね同じ場合は、チームでいずれかの色で統一すること。左右非対称の袖の場合は、それぞれの袖の主たる色と同色でなければならない。~~**の色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用すること。**
4. アンダーショーツ又はタイツの**色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用すること。**
5. ソックスの外部にテープ又は同様な材質のものを着用する場合、着用する部分のソックスの色と**同じでなくても良い**。足首などに着用されるサポーター類も同じ色でなければならない。~~（膝のサポーターは除く。）~~
6. 試合中にゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして試合に参加する場合は、同じ登録番号の付いたフィールドプレーヤー用のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を着用すること。
7. 試合中にフィールドプレーヤーがゴールキーパーとして試合に参加する場合は、他

の競技者と異なる色彩かつ同じ登録番号の付いたユニフォーム（シャツ）を着用すること。ただし、GKの負傷退場などにより、緊急にFPがGKに代わる場合については、他の競技者等と区別できる色の服装であるならば、その競技者の番号が異なるものとなってもやむを得ない。

8. 試合が同点で終了し、ペナルティーキックで勝敗を決する際にフィールドプレーヤーがゴールキーパーとなる場合は、~~他の競技者と区別の付く色のユニフォーム（シャツ）を着用すること。また、同じ登録番号の付いたシャツであること。~~ユニフォームを着替えることなく、GKを務めることを認める。

（徳島県4種が運営する県大会のみの特別規則） ※競技規則に変更は無い。

9. 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

10. キャプテンが着用するアームバンド

フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。また、アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。

【ユニフォームの色彩】

正・副の4セットの色については、明確に異なる色とする。

ユニフォームのデザイン、ロゴ等は徐々に変更されることがあり、メーカーのライン色やロゴデザインの変更に伴い同じものが製作、準備できない場合は類似品で構わない。経年劣化に伴う濃淡の違いも同系色であれば構わない。

※次のような同系色は、緩和に伴い速やかに変更をお願いします。

「白⇄グレー⇄シルバー」「赤⇄ピンク」「青⇄水色」「緑⇄黄緑」などの濃淡が異なる同系色 また、「赤⇄オレンジ」「青⇄緑」などの同系色をFP・GKの正副の4色に組み合わせることを控えてください。

第4条

チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

⇒黒色のシャツ及び、**紺のシャツは黒と判別できないため着用を禁止する。**

注）黒および紺のシャツは2024年度より使用を許可しません。

チームは、試合会場に正・副２組のユニフォームを持参しなければならない。
⇒県大会では可能な限り、事前に当日着用するユニフォームを指定しますので、
指定されたユニフォームで選手チェックを受けてください。
※サブとなるユニフォームのチェックは不要ですが、必ず正副は持参すること。